

様式第5号

出張調査報告書

平成26年11月28日

松伏町議会議長 山崎善弘様

会派名 自民の会

代表者名 高橋昭男



下記のとおり、先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成26年11月5日から平成26年11月6日まで
2 視 察 地	(1) 栃木県市貝町 (2) 福島県泉崎村
3 視 察 目 的	道の駅「サシバの里いちかい」の設立効果、「サシバの里づくり基本構想」と地域との協働事業 天王台ニュータウン・中核工業団地と人口減への対策、頑張る地方応援プロジェクトの少子化対策・子育て支援プロジェクト、市町村振興基金の完済に至る沿革
4 視 察 者 氏 名	高橋昭男、佐藤永子、渡辺忠夫、山崎善弘、松岡高志
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

# 平成 26 年度松伏町「自民の会」先進地行政視察内容結果

## 1. 視察日

平成 26 年 11 月 5 日～平成 26 年 11 月 6 日

## 2. 視察地及び視察目的

### (1) 栃木県市貝町

- ・道の駅「サシバの里いちかい」の設立効果
- ・「サシバの里づくり基本構想」と地域との協働事業

### (2) 福島県泉崎村

- ・天王台ニュータウン・中核工業団地と人口減への対策
- ・頑張る地方応援プロジェクトの少子化対策
- ・子育て支援プロジェクト、市町村振興基金の完済に至る沿革

## 3. 視察者氏名

高橋昭男      佐藤永子      渡辺忠夫      山崎善弘      松岡高志

## 4. 視察内容及び結果（視察結果所感）

市貝町の渡り鷹サシバをシンボルとした「サシバの里」づくりは、平成 23 年度、町全体を「サシバの里」ブランドと位置づけてスタートした。今年 4 月には近隣市町の道の駅との差別化を考えた「体験型」道の駅「サシバの里いちかい」が役場の隣接地に完成した。直売場の売り上げは、半年で予想の 2 倍の 1 億円にもなり、農産物を中心とした、地域ブランド展開事業も順調に推移しているようであった。今、道の駅は、防災・観光・福祉施設など地域活性化への付加価値を生み出す地方創生の拠点になるべきものとの認識がある。松伏町の将来像を考える上で、道の駅と町ブランド創設は農業振興の課題を含め、その効果が大きいことが視察を通して確認できた。

泉崎村の天文学的と言われた赤字は、平成 25 年度解消に至った。平成 12 年度からの「自主的財政再建計画」は徹底した歳出抑制と赤字の原因でもある村分譲の住宅団地「天王台ニュータウン」の販売による歳入確保であり、努力された担当職員の説明には計画通りに返済ができたことへの自負が伺われた。ニュータウン販促は子育て支援プロジェクトなど少子化対策への施策を伴い、当町の課題である若い世代の人口流出に対して、大いに参考になった。

市貝町は「日本一美しい里地里山」と称賛された町である。そこに生息している鷹の小さい鳥の仲間「サシバ」を保護し、この地域を自然と共生したまち「サシバの里」として発信し、町おこしをしている。道の駅がこの春オープンした。4 月から 10 月までの実績の中で、子どもたちへの自然観察会や農業体験など地場産業の活性化や交流に力を入れていた。費用対効果としては町と県の 7 億 8 千 2 0 0 万円の総事業で実施し将来が楽しみである。

自民の会行政視察行程(平成 26 年 11 月 5 日～6 日 栃木県市貝町・福島県泉崎村)

11月5日(松伏町→市貝町→泉崎村)

一般道路及び高速道路 (230km)

松伏町 9:00 出発

60 km ↓ 1時間30分

道の駅しもつま(休憩)  
10:30～10:45

50 km ↓ 1時間15分

道の駅もてぎ(昼食休憩)  
12:00～13:00

7 km ↓ 15分

市貝町役場着 13:15

市貝町視察研修  
13:30～16:00

40 km ↓ 1時間

矢板 I C

60 km ↓ 1時間

東北自動車道

白河中央スマート I C

13 km ↓ 0.5時間

泉崎村着 18:30

宿泊先 泉崎カントリーヴィレッジ  
TEL 0248-53-4211  
福島県西白河郡泉崎村泉崎笹立山1

11月6日(泉崎村→松伏町)

一般道路及び高速道路 (212km)

泉崎村視察研修  
10:00～12:00

泉崎村にて(昼食休憩)  
12:00～13:00

泉崎村 13:00 発

20 km ↓ 40分

白河 I C

180 km ↓ 3時間(含む休憩)

東北自動車道

岩槻 I C

12 km ↓ 40分

松伏町着 17:20